

防火・防災の意識を高めて 大切な家族や財産を守ろう

― 防火グラウンドゴルフ交流大会 ―

秋季火災予防運動の一環として、健康増進を兼ねた防火グラウンドゴルフ交流会が、園部消防署主催で旧町ごとに開催されました。

11月5日、八木運動公園グラウンドで初期消火訓練や住宅用火災警報器の設置説明などを実施。

「寝室や階段などには『煙式』、煙や湯気が滞留する恐れのある台所には『熱式』の警報器が有効」との消防署員の説明に参加者は大きくうなずいていました。その後、防火標語の書かれたゴールを目指すグラウンドゴルフに汗を流しました。



▲訓練用の水消火器で初期消火を行う参加者



▲公開授業で考えを出し合う児童の様子を参観

なぜ？どうして？へえー！ 心のアンテナで不思議発見

― 京都府小学校教育研究会 理科教育研究大会 ―

南丹市立殿田小学校では、平成18年度から3年間にわたり理科研究協力校として、自然に親しみ、見通しをもって追究する児童の育成に取り組んできました。11月14日、授業の進め方や、児童が理科学習に取り組む様子を府内の教職員が参観し、その研究成果が発表されました。児童代表による「アンテナ君活動」発表会では、心のアンテナを張り巡らせて感じた不思議を自分たちで調べて、全児童や参観者に結果を発信しました。

中心市街地の活性化に向け 大型店の立地を抑制

― 第4回南丹市都市計画審議会 ―

11月28日、園部公民館で都市計画審議会が開催されました。審議会では、にぎわいのまちづくりを計画的に実現するため、床面積が1万平方メートルを超える特定大規模小売店舗の立地を抑制する南丹都市計画特別用途地区の決定（南丹市決定）について審議。また、市街化区域内において良好な都市環境を形成するために、保全する農地を「生産緑地地区」として指定することについて確認。審議会終了後、船越暉由会長から、市長に答申が提出されました。



▲岸上副市長に答申を託す船越会長（中央）と野中副会長（左）

不平等訴え、農業水利整備 長年の悲願ここに実を結ぶ

― 三俣川農業水利問題 諸対策事業完了記念式典 ―

八木町と亀岡市にまたがる三俣川地域の一部地区では、田畑を持たされず水利体系から除外され、農業用水確保に労苦を強いられてきました。昭和39年以来、この「水利権のない実態」こそが部落差別と捉えて、問題解決に向けた整備が進められてきました。

11月17日、府営ほ場整備事業三俣川地区しゅん工式および記念碑の除幕式が行われ、その後、この一連の諸対策事業の完了を確認し、後世へ引き継いでいくための記念式典が開催されました。



▲地域の発展を願う記念碑「三俣の郷」の除幕